

## 熱抽出GC/MS法について（短納期を実現）

2015年6月4日欧州委員会は、RoHS指令の付属書Ⅱを改正し、4種のフタル酸エステル類を追加しました。これにより、昨今では分析の需要が増加し短納期での報告の需要も増えてまいりました。これに対応すべく当社では、パイロライザー付きGC/MS（Py-GC/MS）を用いた新たな分析方法（熱抽出GC/MS法）を検討しました。

### • 分析の流れ



サンプルを裁断し、ステンレスカップに計量



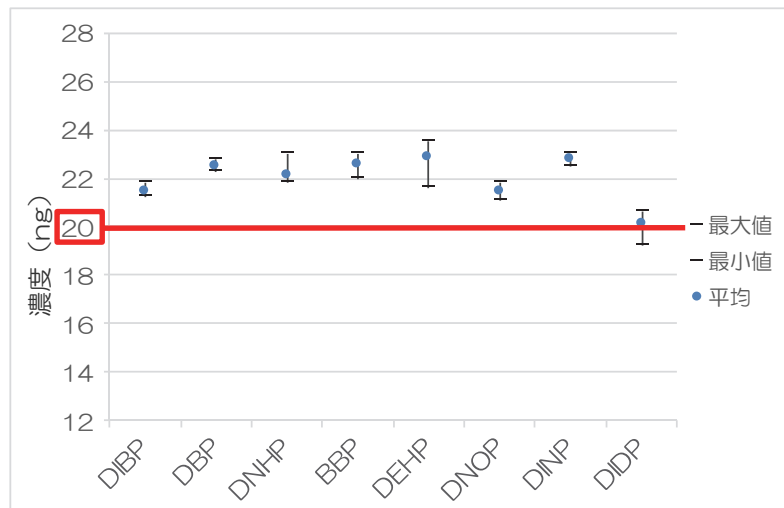
Py-GC/MSで測定



パイロライザー

従来の方では、サンプルからフタル酸エステル類を溶媒に数時間から一晩かけて抽出し、分析するため測定結果が出るまで日数を要します。今回検討した熱抽出GC/MS法では、サンプルを直接測定機器にかけ、サンプルを熱し直接フタル酸エステル類を抽出することで短時間での分析が可能となるため、短納期を実現することができました。

### • 精度



上記は、樹脂に絶対量として20ngとなるようフタル酸エステル類を添加し、分析した結果になります。5回分析し、添加したフタル酸エステル類の回収率は平均値でそれぞれ101~114%、数値のばらつきを示す変動係数としても最も高いDEHPでも3.0以内と良好な結果が得られております。

### • 短納期対応

通常5営業日、特急3営業日に対応いたします！2営業日も対応可（要相談）

詳しくは、当社 環境分析部 五月女、戸邊（内線377、295）まで、お気軽にお問合せください。

